

未来技術社会実装事業の継続申請にかかる KPI の変更について

■ KPI 変更の目的

継続申請にあたり、実施事業を【行政・医療・介護の多職種連携によるデータ連携及び遠隔診療実証事業】に集中することとしたため、当該事業の効果を検証できる KPI に修正する。

■ KPI 変更内容

(現状)

- ・今の場所で住みつづけたいと答える住民の割合
- ・地域活動参加者（担い手）数
- ・咲く南花台事業者の会会員数
- ・南花台への転入世帯数

(変更)

- ・今の場所で住みつづけたいと答える住民の割合
…継続
- ・遠隔診療への実証事業参加事業者数
…遠隔診療の拡大に向けて、定量的なアウトプット指標として新たに設定
- ・在宅診療から遠隔診療への転換による診療時間の短縮時間数
…遠隔診療の実質的な効果を図るための定量的・直接的なアウトカム指標として新たに設定
- ・遠隔診療の必要性を認識した訪問看護師・介護福祉士の割合
…地域全体への拡大に向けた意識醸成を図るための定性的な判断材料として設定

■ KPI 実績および新 KPI の目標数値

№	KPI指標	基準値(単位)	R4		R5		R6		R7	R8
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
①	今の場所で住みつづけたいと答える住民の割合	47.70%	50%	46.30%	52%	42.00%	55%	-	55%	57%
②	地域活動参加者(担い手)数	190人	200人	274人	210人	188人	220人	-		
③	咲く南花台事業者の会会員数	38会員	40会員	38会員	42会員	38会員	45会員	-		
④	南花台への転入世帯数	83世帯/年	85世帯/年	90世帯/年	90世帯/年	111世帯/年	100世帯/年	-		
⑤	遠隔診療への実証事業参加事業者数	者						-	7	10
⑥	在宅診療から遠隔診療への転換による診療時間の短縮時間数	時/月						-	3	6
⑦	遠隔診療の必要性を認識した訪問看護師・介護福祉士の割合	%						-	70	90